

主要施策	健康で郷土を愛する人間性豊かな人づくりのための文化の振興
施策の柱	6 文化施設の有効活用
施策の分類	文化振興

■ 現状と課題

○文化施設の有効活用

歴史文化伝承館は、現在、子どもの体験活動などで年に数回利用されている程度で、利用頻度が少ない傾向にあります。

歴史的価値も高い文化施設であることから、地域における文化活動の拠点として有効に活用することが期待されています。

公民館（昭和49）については、文化活動の拠点として有効活用されるよう随時改修を行うなど環境を整備する必要があります。

■ 目指す姿（基本方針）

- 歴史文化伝承館・鶴の里ふるさと館を始めとした歴史的価値の高い文化施設が点在する津軽富士見湖周辺を芸術・文化の拠点としたまちを目指します。
- 郷土芸能や文化活動が活性化する環境が整ったまちを目指します。
- 地域資源を有効に活用しながら、芸術文化活動を推進するまちを目指します。

■ 施策の内容

- 歴史文化伝承館は、芸術作品展や音楽を通じた地域交流など新たな創造的事業を展開し、芸術・文化の交流拠点となるよう努めます。
- 公民館については、町民が郷土芸能を発表したり、伝承活動の活性化を図る場として利用できる施設となるよう環境整備に努めます。
- 津軽富士見湖周辺を町民が芸術に触れあい、文化活動を通じて交流することができる場となるよう整備を進めます。
 - 『鶴のミュージアムタウンづくり事業（案）』
 - ・文化交流事業…富士見湖パークアジサイの森周辺（短歌、俳句など）
 - ・芸術交流事業…歴史文化伝承館、鶴の里ふるさと館（写真、絵画、版画、音楽など）
 - ・郷土芸能交流事業…公民館、国際交流会館など（郷土芸能発表、伝承活動など）
- 文化施設整備計画を策定し、順次計画の優先度を考慮しながら老朽化が進んでいる施設の耐震化、新築や改築、備品・設備の充実に努めます。

担当：教育委員会

鶴のミュージアムタウンづくり事業全体構造図（案）

富士見湖周辺を核とした芸術・文化の交流、発信など

